

■「効果の見える治水事業」

香川県 綾川(坂出市)の治水事業

『綾川広域河川改修事業』

香川県土木部河川砂防課長

あべ たかお
阿部 孝雄



位置図



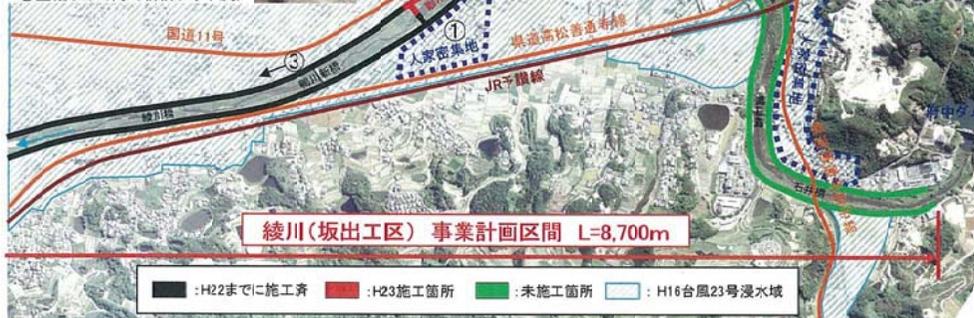
①平成16年10月台風23号による浸水状況



②施工状況(取水堰)



③整備状況(鴨川新橋より下流)



談話室

「安全・安心のまちづくり」

あや ひろし
坂出市長 綾 宏



坂出市は、香川県のほぼ中央に位置し、東は史跡と眺望に恵まれた五色台を境に高松市に接し、西は聖通寺山を隔てて宇多津町に、南は讃岐富士と呼ばれる飯野山を境に丸亀市に接し、北は風光明媚な瀬戸内海国立公園を臨む面積 92.46k m²、人口約 5 万 5 千人の市であります。

古くは塩の町として栄えた本市も時代の変遷と共に、かつての塩田は工業用地、住宅地、農地へと変貌し、沿岸部の番の州地区には火力発電所、石油精製プラント、造船所等の企業が進出しており、昨年は四国最大のLNG基地が完成し運転を開始しました。また、中心市街地では予讃線坂出駅付近連続立体交差事業の完成に併せて平成 9 年にスタートした坂出駅周辺整備主要プロジェクト事業による地下駐車場、高架側道、駅前広場、区画整理事業等が平成 17 年度に完成し、坂出駅を核とした中心市街地の再開発により四国の玄関都市としてふさわしい施設が出来上がりました。さらに平成 21 年 4 月には高松自動車道府中湖スマートIC が本格運用し、利用者の利便性向上に寄与しています。

ところで、市域東部の平野部を南北に流れる綾川は竜王山に源を発し、途中府中ダムを経由し瀬戸内海に到る 2 級河川で普段はゆっくりと流れ、沿線の人々に貴重な親水空間を提供していますが、県下全域に未曾有の災害をもたらした平成 16 年の台風 23 号による異常降雨では様相は一変しました。台風の接近と共に河川水位は急速に上昇し、上流部での越流により 400 戸余りの家屋が浸水被害を被りました。また、坂出市全域に亘り家屋の損壊、土砂崩れ、道路の寸断等が発生し、その被害は非常に甚大なものとなりました。

幸いにも人命被害はなかったものの坂出市ではこれを貴重な教訓として異常気象時に住民が速やかに対応できるよう浸水想定区域や指定避難場所を記載した洪水ハザードマップを作成しました。また、市民と行政の協働により地域の防災力を向上させるため自主防災組織の結成促進に取り組んでいます。一方県におかれては、綾川の流下能力増強を図る河床整備工事が急ピッチで進められており、併せて橋脚10基を有する綾坂橋(昭和 52 年架設)の架け替えも計画されており、工事完成後は浸水被害が大幅に軽減されるとともに橋梁の安全性が確保されるものと期待しております。

自然災害は避けて通ることが出来ないものであり、今後も地域住民と共に防災体制の構築に取り組み、安全・安心が実感できる街づくりを実現してまいりたいと考えております。



綾坂橋



防災訓練状況